



令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年11月25日(月)14時から
場所	崎辺地区コミュニティセンター 大集会室
テーマ	崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)
出席者	地域参加者8名、市長ほか関係者5名 合計13名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

地域参加者

- 朝長前市長時代の頃から新市長へ引き継ぎがなされていると思うが、轟道路について測量まで終わっていると聞いて安心している。いつ頃から着工していつ頃完成予定かお聞きかせいただければと思う。
白岳から上がってくる天神交差点の交通量が5倍くらい増えていて、夕方渋滞する。轟道路が前畑道路につながっていけば、迂回路になって半分くらいに減るのではないかと思う。現状では町民に説明ができないので、目処を立ててほしい。
- 港小学校からトンネルを通過して出てくる道路から橋を架けて東浜まで通していただきたい。
- 東天神町の天神山の頂上から大宮町の方へ行く道路が狭い。特に福石小学校と海軍墓地に挟まれている道が非常に狭く、大きな車が来ると離合ができない。道を広くすると言っても海軍墓地を狭くすることは無理だと思う。小学校の統廃合で福石小学校がなくなるという話もあるため、福石小学校がなくなった場合にハード面として小学校の方に道路を広くするなどできないか。
現状ではどうすることもできないと思うが、バスを小型化して便数を増やすなど検討してもらえないか。
- 上述の箇所から天神小学校に上る道路(藤原崎辺線)が狭い。バスの小型化や部分的な改良ができれば良いと思う。市の道路整備プログラムで要望についてや、順序がある程度決まっていると聞いている。まだここは要望にあげていないが、何か対策をお願いしたいと思う。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

地域参加者

- 天神循環線は民家や崖があるため道路の拡幅が難しいということだが、バス通りとして見れば天神二丁目の路線もある。海軍墓地からの東山もある。本数は少ないがバスは通っている。天神・十郎・東浜という形で路線があって、その中に天神二丁目経由というバスがある。以上を考えれば、道路の拡幅はできないけれど他にもバス路線があるということになる。今後そのままおいておくのか、あるいはもう少し利用拡大できるようにできないのかを伺いたい。その辺りの考え方を伺いたい。
有効活用として、道の拡幅も含め、狭い道でもどこかピンポイントで整備できるというところがあれば多少大型の車も通れるのではないかと思う。その辺りの考え方はどうなのか。



2024.11.25 崎辺地区



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

土木部長

- 轟湾の道路について、前回、令和3年9月に地区自治協議会からの要望があり、また市議会議員からも質問があっている。

測量設計を令和3年度に行い、令和4年度から5年度にかけて予備設計、ルートを選定も行っている。ただし、まだ思案中・検討中であり、今のところは公にしている状況ではない。

案としては、轟湾の上を通過していくような提案ではなかったかと思うが、市としては、崎辺中の陸地側の階段側のルートがベターなんじゃないかと候補としては考えている。

ただ、まだ詳細な地質調査とか、あるいは設計とかは行っておらず、これからそういった検討に入るため、着手がいつかというのはまだ今のところ未定。

- 天神交差点についてはもう完成しており、スムーズな交通をしているのではないかと考えている。

- 前畑崎辺の道路について、現在まだ工事を進めている。天神の公園周辺の地盤が一部変動しているような環境もあり、工事の完了予定は今のところ令和11年度を予定している。それに伴い、事業費の方も少し変更があり、工事費がアップすることから、今から議会等への承認をいただきながら、事業を進めていきたいというふうに考えている。

- 前畑崎辺道路の工事が令和11年度までなので、基本的にはその財源がないかということになってくるから、今のところ有力に考えられるのは、防衛の予算ではないかと考えている。令和11年度まで前畑崎辺道路の方に事業費をつぎ込むので、(轟湾の道路は)基本的にはその後になると考えている。防衛の方からも、前畑崎辺道路が開通した後の、その周辺の整備状況もしっかりと確認して、それからその後の計画ということになろうかと思う。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

土木部長

- 福石小学校、それから海軍墓地周辺の道路の市道名を天神～山手線という。それともう一線、藤原～崎辺町線という道路があるが、いずれも道路が狭いということで、今回の崎辺地区車座集会で広げてほしいという意見が挙がっている。
福石小学校周辺と海軍墓地に関しては、沿線に建物があったりとかで、用地の取得が今のところ状況としては困難ということで拡幅は非常に厳しい状況にある。また、当然ながら建物等の補償額がかかってくるので、そういったことも懸念される。
- それから、道路が狭いとはいえ、中央線をはみ出しているという状況も見受けられる。中央線は土木部だけの見解で引いたわけではなく、公安委員会とか、あるいは地元等の意見も聞いた上で引いている。でき得ることとして、今の時点でもソフト対策で行っていて、カーブミラーをつけたりとか、あるいはその区画線を引いたりなどの状況はあるのだが、抜本的な解決までには至っていないという状況である。
- 道路整備プログラムというのが、その道路の拡幅をする前段としてあり、地元自治協等と話をし、そこから優先順位をつけ、その中でより早く道路を拡幅したいとか、しなければいけないというのを、土木部としては整備させていただいている状況にある。
今回の案件については、今のところ道路整備プログラムの案件には挙がっていないが、内容についてまた改めて調整をさせていただくということと、今後経過観察もしようと思っている。
- 渋滞の箇所も市内全域に渡っていくつかポイントがある。一番多い箇所の一つとしては、大塔インターチェンジ周辺である。そこも国・県と協議を行っており、いろんなところの要因・ポイントをしっかりと精査して、高専の近辺についても、どういところから車両が来ているのかというのを分析して、できるだけ早く迂回路というか、既存の道路のソフト面も含めた対策というのが必要かと思うので、そこは早急に対応していきたいと考える。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

土木部長

- 轟湾を超えて十郎新町と、それから東浜町、そちらの方に通ずる道路の計画は、計画案のルートの検討まではさせていただいているが、住民との意見交換までは至っておらず、まだ行政内部だけのルートになっている。
億単位の道路になるだろうと想定できるので、当然ながら市としては費用対効果といったところをしっかりと精査しながらやっていくし、地元とも道路環境も含めた形で意見交換を踏まえて、検討させていただければと思う。
- 天神循環線について、今やるべきことはやらせてはいただいているが、仮に広げるところがカーブの場所で、そこに隣接して建物等があれば、必然的に建物の補償というのも出てくるので、そこはバスの本数、頻度と、普段の乗用車の交通状況を調査し、土木部だけの範疇ではないので、警察あるいは関係部署などともよく状況を見て検証をしていきたいと思う。
- 佐世保市の市道の全長が約1,800キロあり、直線では佐世保市から函館くらいまで行く距離になるのだが、そういう市道の管理を日頃からしているということもあるので、順次状況を見ながら対応させていただきたいと思う。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

市長

- 白岳界隈が渋滞している一つの要因として、ひうみ町ができたことがあると思うが、そういう住宅が増えたりして、渋滞が多くなっているんじゃないかと思う。

そうした中で、一つは西九州自動車道の4車線化を進めており、令和7年度には一部供用、令和9年度には前線開通として大塔インターから佐々インターまで、全て4車線化になるので、渋滞の緩和には繋がっていくのではないかと考えている。一方で、一つ懸案になるのが、4車線化になった時に、大塔インターのところに料金所があり、すぐ信号があるので、4車線化になってもここが変わらないと、車が詰まってしまい、ボトルネックになってしまう可能性が強い。

我々としては、国に対して、インターチェンジ周辺の交通関係の協議に対する要望を既にかけているところであり、この4車線化に伴う渋滞解消というものを図っていきたいと思っている。

- 前畑崎辺道路の工期延長については、住宅地域の皆様方にいろいろな影響を与えているということなので、そうしたものがないように、市としては慎重に対応をしている状況である。

また、それに併せての予算の増額については、12月の定例議会、記者会見でも説明させていただき、その上で計上しているところである。

令和11年度までの延長となったが、この工期をもって確実に完成をするように市は努めなければならないと思っている。

併せて、崎辺の道路ができて、その後で次の迂回路というものを造る計画が出てくる予定だったと思うが、その計画も工期の延長によりまた完成の後ということになれば、先の話になるんじゃないかと懸念もあると思う。

我々とすれば、その計画というものを、前倒しでやれることについては検討しながら考えていく必要があると思っているので、内部又は地域の皆様方と話をしながら、今後の道路の問題については協議を重ねていきたいと思っている。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

地域参加者

- 十郎新町の方に住宅課所有の3500坪の土地を将来有効に利用してほしい。高齢者が買い物難民として苦労していることもあり、できればその土地での流通業界の誘致をお願いしたい。東浜に乾物類の間屋がたくさんあるので、地産地消ということで将来道の駅のような感じでも販売する場所を作ってもらえれば、活性化と雇用促進につながる。そういうソフト面とハード面を加味しながらまちづくりにひとつのプロジェクトでもいいので作ってもらえれば。
- 都市をつくるということは街中に集約するという感じではなく、将来性を見越して建設していくのだと思う。佐世保市の現状は中心地にマンションが集中してきていて、市の施設等はできれば周りにつくっていったらいいという気持ちがある。市の施設を周りに作っていくことで、地域の方にもメリットなりその循環ができて流れができていくんじゃないかなと思う。そういう魅力的な施設が1つあるだけで、実際にその今まで赤字だった路線も採算性が取れるようになり、バスの便をふやせるようになったりとかするようなことがあると思う。
- 個人的な意見での提案だが、今図書館が街中にあるので駐車場代がかかるため、図書館でゆっくり本を読めずに借りて行かれる。2週間貸出になるので図書が減る。図書が減ると、図書館に行っても見たい本がないということでつまらない図書館という感じになってしまう。車も停められて、ゆっくり時間を気にせず図書を見られるような図書館を天神公園あたりにつくって循環バスも走らせてもらえれば、バスの採算性もとれ、地域のみなさんの利便性もよくなる。そういうことがあれば自然とお店も増えていくのではないかなと思う。利益を追求してはいけないというわけではないと思うので、ある程度利益を出してもらえれば。今の図書館は良い土地なので、売買等をしたいという人はたくさんいると思う。そういう風にしていくことも考えてみてほしい。武雄の図書館みたいな図書館をつくれたらいいなというイメージでお話した。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

都市整備部長

- 市営住宅の跡地の件について、少し経過を説明させていただくと、平成19年度に老朽化した市営住宅を解体をさせていただいている。その後、ちょうど団地のところに道路整備計画があったので、この道路の完成までこの土地の処分については保留していた。

平成30年度に入り、道路は完成したが、その後、市内部の方でこの土地についての利活用に関していろんな案があったものだから、再び処分保留というふうな形にしていた。

結果的に、そのときの案についてはなくなったので、今のところこの土地については利活用の案がなかなか見いだせないということで、現在に至っているというような状況である。

今後の話として、まず市がこの土地の所有者として話をさせてもらおうと、こういった形で遊休地ができると、市内部でこの土地について利活用ができないかということをまず検討するというのが一つ目にある。

その後、市の方針に沿った形で、利活用の機会を想定し、一般の民間向けということになるかと思うが、用途を限定せずに、公売による売却・処分をという形で土地の処分を進めるというふうになる。

市は市営住宅の管理運営に関しては特別会計を組んでおり、その関係で、土地については基本的に、例えば売却益とかそういうものは、今後の市営住宅の利活用に使わせていただくということで、売却を考えているところである。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

都市整備部長

- 高齢者の方が多くて買い物に困られている方がいるということであるが、この場所は実は都市計画の用途でいくと、店舗面積が500㎡以下の店舗しか建てられないこととなっており、大型の店舗は難しいというふうな感じである。
500㎡というと、コンビニが大体200㎡くらいなので、その2.5倍くらいということになる。今回、話が出たこともあり、民間事業者の方の意向も伺いながら進めていくべきではないかなというふうに考えている。
ここに交通渋滞を招いてしまうとよろしくないの、基本的には、やはりこの道路計画も見据えた中で進めていくべきではないかなと考えているところである。
- ちなみに、これまでこの土地については、福祉関連の施設ができないかというようなお問い合わせとかをいただいたことはあるが、今のところ、店舗系・商業系に関しては話はない状況である。
- 図書館の創設について、市は集約化を図っている立場なので、おっしゃっていることは十分わかるが、やはり人口が減っていくという中で、インフラをどうやって維持していくのかというのを考えていった時に、その方向に動いてしまうということになる。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

市長

- 図書館の話があっているが、機能の分散といったものは必要なので、まちなかにある図書館の利便性を高め、利用を広げていくためにはどうしたらいいかという発想も必要なのかなと。
- 崎辺地区もそうだが、これからコミセンの建て替えを鋭意やっていくのだが、計画の中に、例えば若い方が勉強とか集えるようなスペースなども作れないかというようなお話もさせていただいている。
今、フリースペースという形で市役所の13階を整備して、若い人だけではなく全ての年代に集まっていたいただいて、眺望を楽しみながら、飲食などもしてもらったり、放課後とか子どもたちが時間が空いたら、勉強をしているという状況があるので、そういうスペースをぜひ各コミセンなどでも作っていききたいなというふうに思っている。
- 南地区の方でもコミセンの話の中で、学校とコミュニティセンターを複合化したような施設を造ってほしいという要望をいただいている。そうした学校と地域が一体となっていくような中で、若い方とも連携を図っていくというようなことになろうかと思う。
そういうものも内部では検討を始めているところであるが、例えば、図書館なども利便性を高めていくためには、どの地域にいても本と接することができるような体制をどう作っていくかというのが重要であろうかと思うので、今、佐世保市と県立図書館などとも連携をしているが、いろいろな形で機能が分散化できるようにこれから検討をしていきたいと思う。
- 文化面というのは重要なことだと思うし、インフラ整備についても、財源との兼ね合いもあったり、人口の減少というのもあって、なかなか簡単な問題ではないが、できる限り利便性が上がるようなことをも頭に入れながら、これからの地域の振興を図っていく必要があると思う。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:崎辺地区のまちづくりについて(安全対策と遊休地の有効活用)

市長

- 南地区でもコミセンの計画などがあり、当然隣の崎辺地区とも関連する部分もあると思うので、協議を重ねながら問題に取り組んでいきたいと思う。



2024.11.25 崎辺地区



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 佐世保は自衛隊と米軍もいる国防の要の町であり、同時に危険にさらされた町だと言える。しかし佐世保市民はもしもの時に身を守る手段がない。大規模なシェルターをつくって国内にアピールしてはどうか。

前畑も含め、現在工事中の天神公園あたりに、福石中学校・崎辺中学校・港小学校からトンネルを通って安全に避難でき、自然災害やミサイル等にも対応できるような地下シェルターで、普段使いでき、またペット等も一緒に避難できるようなシェルターを作り、平常時には宿泊料をいただいて宿泊体験や防災訓練、学校の合宿場としても使えるような施設の建設を要望したい。

大規模シェルターと区画シェルターを考えており、大規模シェルターには図書館や娯楽施設、コミュニティセンター、駐車場、温浴施設、プール、ジム、コンビニ、病院、総合病院や救急医療所、動物病院等を併設できればいいなと思う。

区画シェルターには個人や企業に年単位で貸し出すものと、体験宿泊用のもので大小様々な広さのものを用意し、季節商品やキャンプ用品、備蓄品などを収納できるレンタルスペースのような感じで普段から使っていただけるような施設で、いざというときは個別で避難所として使え、ここにペット用のスペース等も一緒に作っていただくということで、一般者との分離ができるようになると思う。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 区画シェルターは天神のトンネルの側面や道路に作ったらどうかなと思う。
そういうことをすることで、組み立て式で埋め込みの、トンネルと同じ工法みたいな感じでつくれば、予算とかも少し安くなるのではないかなと思うし、地すべり対策にもなるのではないかなと思う。
地上が、駐車場だけでなく展望台やテラス、災害時の緊急避難所と使える公園やバーベキュー施設、アウトドアショップの運営するようなペット対応のオートキャンプ場や製品化されたシェルターの展示体験施設や防災訓練施設、そして貯水槽やソーラーや、風力発電に備蓄水素変換システムなど、企業に協賛してもらえばいいなと思う。

これらの施設は、できれば市の方と民営と一緒に
なって自由な発想でいろんな運営をしていければいいのではないかなと思っており、民営にある程度委託することで自由な発想で集客にも努めてもらえると思う。市とも一緒になって、提携関係として緊急時にはいろいろ協力してもらうような体制にしたらいいいのではないかなと思う。
個人的には小中学校や崎辺地区・南地区コミュニティセンターを合併して、ここら辺に併設してもよいのではないかなと思う。
防衛防災庁の発足や、金子容三防衛大臣政務官もおられるし、国防の要のまち佐世保に、国の支援を最大限引き出していただき地下シェルターの建設をしてもらいたいと思うが、どう思われるか。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 地球の人口当たりで、核シェルターを持っている比率が、ノルウェーが98%、アメリカが82%、ロシアが78%、シンガポール54%。日本は0.02%しかない。
東浜に住んでいるので前畑針尾弾薬庫があり、個人的に核シェルターを作ろうと思っているが、それに対して助成金とかそんなものが出ないのかなと1つ思っている。

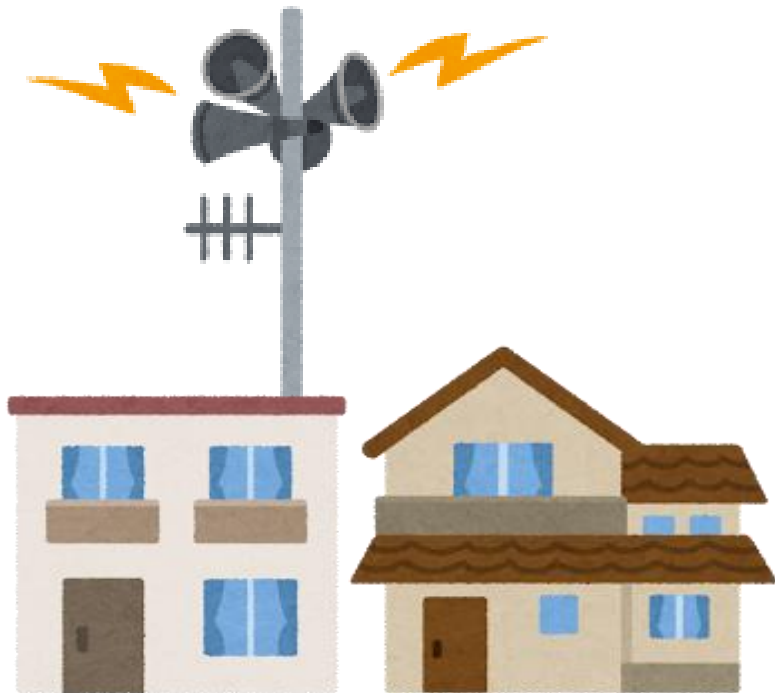


2024.11.25 崎辺地区



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他



防災危機管理局 主幹

- シェルターに関しては、国が一応方針を定めている。
特定臨時避難施設の整備という名目で明確に、今は沖縄の先島諸島を優先として、与邦国島であるとか石垣島であるとか宮古島であるとか、そういったところの整備費は明確に示してある。その他の都道府県については、補助金等の制度というのは、今現状は示されていないという認識である。
したがって、今後本市としても政府の今後の財源的な設置等を見ながら考えていかなければならないという状況で、現状としては、個人のシェルターに関する補助金というのはないという認識である。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 崎辺地区には崎辺町など町内会がないところがある。そういう箇所の人でも地域の崎辺地区自治協議会に参加できるような体制を、市の方でも少し考えていていただければと思う。
- 最近、他所から引っ越して来た方や新しく家を建てられた方が町内会になかなか入ってくれない。他所から入ってこられた時に、市から町内の方に連絡を取るようにと連絡がきていたが最近はどうなっているのか。
条例とまではいかないと思うが、町内会に入ってもらえるような何かを考えているのか。町内会に入ってもらえないと、会費の面やゴミ関係等いろいろな支障がでてきている。なるべく皆さんに入ってもらっていろいろな情報を知ってもらいたいと思う。
- 町内会に入ってもらえる世帯数が減っている。町内会費が目減りしているが、これ以上会費を上げることは難しい。住民票がある住民は必ず町内会に入るよう、条例をつくるなどしてほしいと考える。
- 交通安全ののぼりを作る予算がないということだった。十郎新町は5万円出してのぼりを作った。なるべく負担を軽減してほしい。
- 市の住宅課の草刈りの予算化ができないのか。
- 図書館の有料駐車場を無料にしてほしい。1時間無料だが、1時間では足りないため、改善してほしい。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 石木ダムの建設事業を下ノ原ダムのかさ上げへの変更を希望する。なるべく既存の物を利用してほしい。石木ダム建設には費用もかかる。なるべく市民の負担金がないように安くなるようにしてほしい。下ノ原ダムや佐々川、小森川等水は余っている。費用がかかる石木ダムになぜこだわるのか。
なるべく市民に負担をかけないような市政をしてほしい。
政治決断をし、佐世保市は石木ダムはいらないと断言してもらって、市民のために既存のダムの活用を考えてほしい。
- 西天神・十郎新町の消えている中央線の白線を早急に引いてほしい。
- 教育委員会にも言ったし、港小学校の校長とスクールゾーンの現場立会をしたが、30kmの速度制限を早く警察にあげるようお願いしているのに依然60kmで車が走っている。危険性が高いため改善してほしい。
スクールゾーンは30kmとなっているのに速度制限の表示がないので、車が60kmで走る。2年前から言っているがなかなか進展しない。改善してほしい。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

- 崎辺町を調べてみたら、5世帯の126人というのが、令和2年度の国勢調査の推計らしいのだが、ほとんど基地内宿舎の教育隊の隊員というふうに言われており、一般住宅は数件であるようである。
- 基地内の教育隊員の町内会加入は正直難しいと思う。
世帯の方を対象とすると、5世帯と少ないので、そこだけで新しい町内会を作るというよりも、隣接する町内会である西天神町公民館の中に入れてもらうとかいう案がある。
その方向で話がまとまれば、町内会の勧誘に行かれる時は、市も同行した方がよければ、そういうこともしているので、連絡をとりながらと思っている。
- 町内会加入連絡票は今もやっていて、二次元コードを読み取ると、オンラインで加入手続きができる仕組みまで作っている。
手続きした内容はコミュニティ・協働推進課に来るので、該当の町内会長に繋がっているという状況にある。それは継続している。
加入連絡票を2件しかもらっていないということだが、本庁だけでなく支所でも同じように加入連絡票を渡すようにしているので、声掛け等を取りこぼしがないようにしたいと思っている。
また、条例であるが、自治協議会の設立時に制定した、「佐世保市地域コミュニティ活性化推進条例」というものがあり、その中で「市民は自らが居住する地域等の町内会等に参加するものとする」というふうに定義づけをしている。ただ、これが「加入しなければならない」となっていないのは、町内会が任意の団体というところで、強制的な文言にすることがなかなか裁判例とか見ても厳しい。そういうことで今の条例がある。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

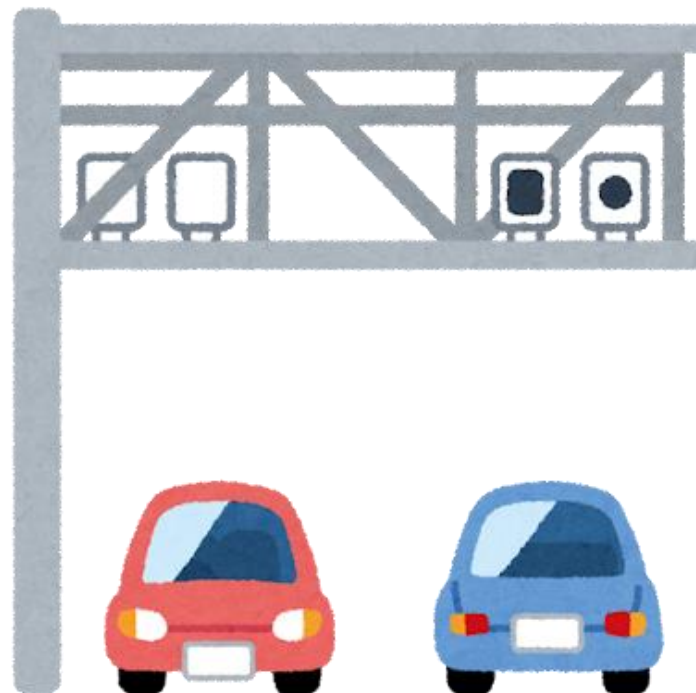
- 町内会加入の取り組みとしてもいろいろやっており、そこについては引き続き、広報活動もそうであるが、不動産業者と協定を結んでいたりと、市の職員にももちろん声掛けをしている。市職員の町内会加入率は93～4%となっており、市の加入率79%くらいと比べると当然市の職員が高い値であるが、取りこぼしがないように進めていきたいと思っている。
- 自衛隊とか県北振興局とか、当然公務員の方から確実に攻めなければというふうに考えているので、引き続きやっていきたいと思っている。
- 町内会がどんどん目減りをするというところで、今、コミュニティ・協働推進課で各町内会の決算書などを見させてもらいながら統計を取り、(収支的に)どういう状況かとか、行政協力費がどのくらいの割合で使われているかとかの分析をしている。
併せて先ほどの回答と同じように、今までやってきたことを取りこぼしがないようにやっていく。
- 交通安全ののぼりについて、来年度の予算の中に何とか入れられないかと今努力中である。
- 図書館の有料駐車場の件で、図書館に確認した。中央公園がきれいにリニューアルされる時にあわせて有料化となっている。図書館近くの駐車場以外のところも有料化になったので、有料化にしなければ、図書館利用者以外の人も停めるようになるという懸念もあったということが一つと、あとは近隣市町の状況を調べてのことである。
長崎市の場合だと、長崎市は30分無料で、それ以降は30分につき130円、佐世保市の方は1時間を無料としているということで、当然佐世保市の方が地価が安いので、そういうことになるのだろうが、近隣と差がつかないようなところで、今回有料化としたということで理解をお願いしたいというようなことであった。

令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

土木部長

- 西天神・十郎新町の道路の白線は地域から再塗装の要望を受けており、計画的に実施してきており、令和6年度に完了予定である。
- 道路管理者が速度規制を行うことはできない。速度規制は公安委員会の管轄になる。道路管理者では、その代替として、道路に注意喚起の路面標示として文字を書くのは可能である。規制に関することは佐世保署管轄になるので、教育委員会と連携をしながらもう一度確認をさせていただければと思う。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- 最後、町内会の話があり、この町内会への加入問題については、崎辺地区のみならず、ほとんどの地域で話題となっている。現在のところ、町内への加入、また役員のなり手不足問題、これは町内会長のみならず、民生委員だとか、あるいは様々な役割について不足がしているということについてのご指摘をいただいている。
- 町内会については条例という話もあったが、全国的に加入という問題があって、訴訟問題にもなっているようである。既に平成17年の最高裁の中では、町内会加入は強制ではないというような判決も出ており、そういうことから本市もなかなか強制ができないという状況にある。そうした中で、どのように加入していただくかということに、これから腐心をしていかなければならないと思う。
- 町内会に入るときには、メリット・デメリットというような話をされる方もいるようであるが、個人的にはそのメリット、デメリットで判断をするようなものではないというふうに思っている。しかし、メリットと考えるならば、いざという時、万が一災害があった時だとか、特に最近では、これは都市部の方であるけれども、犯罪が多くなっているということを見れば、町内会でつながりを持つことによって、災害についてはお互いが助け合えるというような受け皿にもなるし、また防犯についても、これは調査がかけられているようであるが、町内会の結びつきが強いところは、防災効果や犯罪を抑止する効果も高いというような話もあるので、やはりいざという時の町内会の役割というのは極めて大きいというふうに思う。



令和6年度崎辺地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- そうした意味でも、町内会への加入について、市もこつこつと、市民の皆様方を説いていきたいと思うし、また役員に関しては、やはり負担の軽減、どうやって負担を軽減をしていくかというようなことも重要だと思う。

その辺りは今からいろいろな新しい仕組み、先ほど市民生活部長から二次元コードでの町内会加入申込の話があったけれども、できるだけ新たなツールも使いながら簡素化していくということが重要かというふうに思う。

また一方で、町内会への新たな人材というものを見つけていくというようなこともやっていかなければならないというふうに思う。

- いずれにしても、今集まっている皆様方には大変な町内の役を引き受けていただいてご苦勞をかけているというふうに思う。

やはりこれからも地域のコミュニティを守るという意味で重要な役回りだというふうに思うので、我々も精一杯いろいろな協力をしていくので、共にこれから町内の充実維持に向けてご協力ご支援をお願い申し上げたいと思う。

- 市政の大きな課題が山積みになっている。人口減少あるいは少子高齢化、様々な懸案というものがここに要因があるかというふうに思うので、そうした人口減少の中でどのように地域を守っていくのか、また一方でどうやって人口減少に歯止めをかけていくのか、そうしたことも全体的に政策を展開をしながら頑張っていきたいと思っている。今後ともご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

